



秋
到来
♪



川下り
キャンプ
9月10日～
11日



川(錦川) 海



柿、
落ちて
こい!!

ブルーベリー
狩り、
さん、ありが
とうございました。

G U M I T A C E R 3



息が
いっぱい
いーよ。

さあ、
みんな
水登り!!

いろいろハプニングが
あった川下りキャンプ。
おにひまわり大きく
なって帰ってきたね。



お月見、3色団子を
作ったよ。もち米を
ひいてかき混ぜた!!

I
M
W



大変!!
マイ田んぼに
イシノハナ

あつて電柵を
設置
しました。

韓国 修学旅行

9月24日～10月1日

「まだここで死ぬわけには石の上で
いかない」by 韓流 仲間
水中でもかき混ぜる C

宙
M
I
U
G



てらこや 残り組 (1.5倍)



日本製
トッポギ
みんな
食べた!

夏休みのプランの発表会
夏休みにしきたことをみんなの
前でひたひた話す話しました。



流石めん
竹の
全て自分達



宙が作ったおみやげ
羊毛フェルト、大好評



カンジエーごとの
学校で、てらこや
紹介をするため
に、みんなを前
にリハーサル。



初日
ソウルの
南大門に
パチリ!

大星山にも
行ったよ。



刺繍で
大好きな
韓流俳優の
名前を!!
by W

アレッグさんがドイツから
遊びにきてくれたよ。



1000ピースのパズルを
1日でもみんな
アレッグさん、上手にた!

韓国組に Q&A

- ★一番おいしかったもの ☆楽しかったこと
- ホットック (中にシモン、セウ
ホの笑) でももといっぱい! (G)
- ★一番まずかったもの ☆出合った人
- 生クリームたのびのり (M3)
- コンベニバン (M3)
- 夜中のトランポリン (I)
- 韓国の子と
いっしょにジャンプ!!
- イェウン君
一番おもしろ
かった人、6年生
女の子 (U美)
- 仲よく出合った子 (留)

おかえり！おととい、全身に「楽しかった～！」がにじみ出ている韓国組が帰ってきました。みなさま、報告会をおたのしみに！そして日常が戻ってきます。日常が、土台を作り、根を作る。日常のひとつひとつの動作が、ことばが、思いが土台を作り、根を作る。さあ、金木犀香る秋、実りの秋。次のハレの日のために、大地に根を張って、日常も、日々は冒険 \(\wedge\wedge\)/

まあみん

日	月	火	水	木	金	土
 10月		1 韓国組 おかえり♪	2 ヤマザキヤマ トさんの演奏会	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 体育の日で お休み	15	16	17	18	19
20	21	祝日でお休み 22	23	24	25	26
	-----	この週のどこ	かで稲刈り	-----	-----	
27	28	29	30	31		

○ こどもたちがお昼ごはんを考える日(緑色の日) 稲刈りの日、他にもプランによって増える場合あり。 *青字=誕生日♪

ふっくんから・「川下り」

2年ぶり2回目の川下りに行った。康司さんと子どもたちとカヤックを漕ぎ、南桑から、錦帯橋を目指す一泊二泊の旅だ。今回のメンバーは、U、G、C、T、E、A、Rの7人。今回はKも宙もない。もっと言うと、RもUもSもない。どんな旅になるのか僕は楽しみにしていた。初参戦なのは、G、C、A。朝のミーティングの時から、ヤナにかからないように頑張る！と言っていた。経験者からその存在を聞いていたようだった。ヤナというのは川を横断するように設置された漁をするための竹製の仕掛けでカヤックがギリギリ通れる幅しかあいていない。

川のコンディションは最高。天気も暑いくらい。康司さんから川の水や流れに関するレクチャーがあり、川下りが始まった。先頭はT。開始早々、ヤナがあった。おじさんが作業していてどこに通り道があるか判断しにくかった。どこ？と言っている間にみんなの間隔が詰まっていった。こっちだ！とT。おじさん側に通り道があった。ドドド一つと団子状態になってヤナを抜けた。怒鳴るおじさん。GとCは間に合わず、ヤナにひっかかって転覆。康司さんが助けに向かう。2人とも何とか自力で起き上がるが、Cの水筒が流される。おじさんは一気に通るんじゃない！と怒っていた。これじゃあ通れないと康司さん。Cは走って追いかけるが、水筒はどんどん流されていく…。

その後もハプニングが続いた。場所はやはりヤナの周辺だ。ここは流れが急なうえヤナの位置がとても悪かった。それに、ヤナを抜けたら必死に漕いで橋に当たらないように抜けないといけない。ここで、Aが転覆。僕も転覆した。(一緒に乗っていたR子ごめん。) 転覆するたび、誰かの水筒や荷物が流されていく…。

結局、流されてしまった水筒や荷物はサオやみんなの注意深い目のおかげで全て回収することができた。

そんな出来事がある度に、みんなの真剣味が増していくのを感じた。みんなが川に向きあっていた。

途中、飛び込みのできるポイントがあって、みんなで思いっきり飛び込んだ。みんなの弾けるような笑顔が心に残った。僕も思いっきり飛び込んだ。確認はできないが、弾けるような笑顔だったと思う。(内心ドキドキしていたが…)

野営地につき、テントをたて、うどんを食べた。毎回手際の良さには驚かされる。まだ明るいうちに食事を終えて、もうひと泳ぎした。暗くなると肝試しをして、火を囲んだ。星を眺めながら色々な話をした。とても心地の良い夜だった。

二日目は、サンドイッチを食べて、お昼のおにぎりを握って出発した。前日に比べると驚くほど順調に進んで行った。みんな川に親しんで、どんどん自由になっているように感じた。お昼には目的地の錦帯橋に無事に到着した。

今回の川下りの旅、僕にとってはとても良かった。川を下るに連れて、自然に親しみをを感じるに連れて、子どもたちも、僕自身も変わっていったように思う。素直に物事を認められるようになった。そんな機会を与えてくれた地球子舎と康司さんに感謝したい。

ふっくん